

## 〈資料2〉 具体的な取組例

ここでは、実際にどんな取組をしていくか、いろいろな具体例を挙げてみます。これら以外にも多くの取組が考えられますが、第3章で述べた「みんなで取り組むユニバーサルデザインの基本姿勢および視点」をもって、様々な立場の人がともに携わり、常に改良を加えながら取組を続けることが大切です。

### 1 だれもが取り組むユニバーサルデザイン

#### 1 継続的な理解促進



(ユニバーサルデザイン製品の解説展示、体験)



(ユニバーサルデザインセミナーの開催)



(実践の参考となる流れのあり方や事例等を示した「みんなでつくるまちづくり手引書～淡海ユニバーサルデザイン化ガイドライン～」(平成14年3月滋賀県発行))

#### 行政に期待される取組例

- ① ユニバーサルデザインについての情報発信、様々な媒体への情報提供、研修会等の開催、事例集の作成等による普及啓発
- ② 会議やイベント等の開催にあたって、様々な人の利用を想定した会場設営、一時保育の実施、手話や多言語通訳の配置、点字や多言語資料の準備といった運営や説明、またパネル展示等による普及啓発
- ③ 地域や事業者、民間団体、学校等を対象とした出前トークの実施
- ④ 「交通バリアフリー法<sup>\*</sup>」に基づく基本構想をはじめ、ユニバーサルデザインを取り入れたまちづくりに関する基本計画の策定
- ⑤ 行政、事業者、民間団体、大学などが連携してユニバーサルデザインの考え方を推進するネットワーク構築の検討
- ⑥ 事業ごとに実施するPDCAサイクルの考え方を取り入れた施策評価<sup>\*</sup>や、あらかじめ定めた指標等による進行管理
- ⑦ 公的施設の整備にあたって、様々な利用者の意見を聴くための仕組みづくり

## 県民に期待される取組例

- ① ユニバーサルデザイン情報等の収集、活用
- ② 家庭や地域、職場等において、ユニバーサルデザインをテーマにした話し合いの場づくりや、積極的な参加
- ③ 他者を思いやる気持ちを忘れず、高齢者や障害者等の行動の妨げとなる行為をしないこと  
 <例>歩道への自転車放置、点字ブロック※の上  
 上に自転車や看板等を置く、車いす使用者駐車  
 車区画に障害のない人が駐車する など
- ④ 自分の住むまちや、日常使用している製品等  
 に関心を持ち、何が使いにくいのか、どうすれば  
 使いやすくなるのかといった点検を行う等、生  
 活の中にユニバーサルデザインの視点を取り入  
 れること
- ⑤ 行政や事業者などに対して、P D C Aサイク  
 ルへの参画、問題点の指摘や改善に向けた提案、  
 取組の評価や支持



(地域の施設改善について話し合い  
(近江八幡市))



(小学校での福祉保育体験(能登川町))

## 事業者・民間団体に期待される取組例

- ① ユニバーサルデザインについて社員等への意  
 識啓発と、自社製品やサービス等を通じた事業  
 所内、業界内外への普及
- ② 会議やイベント等の開催にあたって、ユニバ  
 ーサルデザインの考え方に基づく運営や、ユニ  
 バーサルデザインに関する説明、パネル展示等  
 による普及啓発
- ③ 利用者が求める様々な配慮を行った施設や製  
 品等の開発、情報提供
- ④ 「P D C Aサイクル」による事業評価の徹底
- ⑤ 施設の整備や製品の開発などの場合に、計画  
 段階から利用者の声が反映される仕組みづく  
 りの検討
- ⑥ だれもが気軽にまち歩きを楽しむために利用  
 できるユニバーサルデザインマップづくりなど、  
 地域密着型のまちづくり活動
- ⑦ 行政や事業者への利用者の声の伝達や、改善  
 に向けての提案



(「ユニバーサルデザインまちかどウォ  
 ッチャー」による調査(守山市))



(タウンモビリティ\*実験(東近江市))

## 2 学びの場づくり、ひとづくり



(交流車いすバスケットボール)



(県小・中学生用福祉読本)



(高齢者による刈り込みボランティア  
(近江八幡市))



(地域で協力して、障害のある人もない人も、大人も子どももみんなが一緒に運動会)

### 行政に期待される取組例

- ① 学校における、総合的な学習の時間※などを活用した、ユニバーサルデザインの考え方やボランティア体験、高齢者、障害者、外国人等との交流などの学習機会の確保
- ② ユニバーサルデザインに関する副読本などの教材の作成
- ③ 行政職員や教職員等が率先してユニバーサルデザインを学習したり、取り入れたりできるような場づくり
- ④ 住民等への様々な形でのユニバーサルデザインに関する学習機会の提供
- ⑤ 利用者をはじめ、様々な事業者、民間団体を対象としたユニバーサルデザイン説明会等の開催
- ⑥ 交通機関や施設等で、身体障害者補助犬やその利用者が円滑に利用できるよう、各種広報媒体を通じた啓発の実施
- ⑦ ボランティアセンターにおけるリーダー養成、ボランティア活動に関する情報提供の実施
- ⑧ 高齢者、障害者なども自らボランティア活動を行い、多様な社会体験をすることにより地域の担い手としての社会参加を促すための、ボランティア活動促進支援
- ⑨ 民間団体等が実施するユニバーサルデザイン普及啓発活動への支援

### 県民に期待される取組例

- ① 子どものときからお互いの違いを受け入れ、相手の立場になって考えられる思いやりのある心の育成
- ② ユニバーサルデザインの学習や推進リーダー育成などを目的とした研修会等の機会への積極的な参加
- ③ 地域や職場等での、ボランティア活動やNPO※等を通じたユニバーサルデザイン運動への参画

## 事業者・民間団体に期待される取組例

- ① ユニバーサルデザイン化された施設見学等のユニバーサルデザイン学習の受け入れ
- ② 高齢者、障害者等の施設やサービス利用者の利便性や快適性などを高めるため、まちづくりへの理解と介助サービスや身体障害者補助犬への理解、さらにはユニバーサルデザインの考え方などについて事業所内教育による学習機会の提供やリーダー育成
- ③ 行政等が実施するまちづくり関係の研修会などに積極的に参加するなど、知識と技術の向上に自ら努めること
- ④ ボランティア体験や、高齢者、障害者、外国人等との交流学习への協力
- ⑤ 地域や職場等で、NPO※やボランティア活動等を通じたユニバーサルデザイン運動の自主的な展開



(研修会に参加する事業者)



(啓発理解パンフレット発行)



(団体が協力して地域の祭をみんなで楽しむ(長浜市))



(ユニバーサルデザインまちかどウォッチャーによる調査(守山市))



(点字ブロック敷設状況調査)



(小・中学生の福祉学習として福祉施設を訪問(能登川町、大津市))

